

# 松川正則 市長 逝去



## 略歴

- 昭和51年3月 琉球大学短期大学法経学科卒業
- 昭和48年4月 宜野湾市役所入庁
- 平成13年4月 宜野湾市議会事務局庶務課長
- 平成16年1月 宜野湾市議会事務局次長
- 平成22年4月 宜野湾市議会事務局長
- 平成24年3月 第4代宜野湾市副市長(1期目)
- 平成28年3月 第5代宜野湾市副市長(2期目)
- 平成30年9月 第18代宜野湾市長(1期目)
- 令和4年9月 第19代宜野湾市長(2期目)

松川正則市長が、令和6年7月26日に70歳で逝去されました。

松川市長は、平成24年3月から第4代及び第5代宜野湾市副市長を務め、平成30年9月から第18代宜野湾市長に就任されました。

令和4年9月には再選し、2期目となる第19代宜野湾市長を務められました。

宜野湾市長就任後は、「宜野湾がいちばん」をモットーに、本市発展のために邁進され、在任中は、訪米要請行動及び、普天間飛行場負担軽減推進会議等を通して、日米両政府及び沖縄県に対し、返還合意の原点を忘れることなく、普天間飛行場の返還を最優先に取り組み、固定化を許さず、あらゆる方策を講じ、普天間飛行場の一日も早い閉鎖・返還、返還までの間の危険性除去及び基地負担軽減、返還期日の早期確定を強く求めてまいりました。

一方、返還後の跡地開発については推進体制や制度、事業手法・実施主体、開発費用など各種課題について、国、沖縄県と二丸となり取り組んでまいりました。

また、キャンプ瑞慶覧西普天間住宅地区の返還、市道宜野湾11号開通、市民広場スケートボード場供用開始及び、普天間前広場完成などを実現し、令和7年1月・4月には返還されたキャンプ

瑞慶覧西普天間住宅地区に琉球大学医学部及び大学病院がそれぞれ開学・開院するなど本市の発展に尽力されました。

松川市長の数々のご功績に感謝と敬意を表するとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。



令和6年 普天間基地に関わる要請の様子



平成30年 市長就任式



令和6年 普天間前広場お披露目セレモニー



令和3年 市道宜野湾11号開通式